

令和5年度（歯と口腔の健康）各団体の取り組み状況一覧

団体	歯科保健関連の取組	今後必要と考える対策	新型コロナウイルス感染症により影響のあったことがあれば記載
鳥取県中部総合事務所 倉吉保健所	<ul style="list-style-type: none"> ●親子のよい歯のコンクール（7/27, 母子2組、父子0組） * 母子1組が知事表彰を受賞 ●デンタルプロフェッショナル派遣事業（倉吉市立関金小学校、年5回（1,4,5,6年）） ●歯周疾患検診促進パイロット事業（企業1, 市町1）* 聴覚障がい者センター等 ●市町歯科保健担当者会（6/23,13名出席） ●中部地域歯科保健関係者研修会（12/21,オーラルフレイルと健康寿命） ●中部地域歯科保健推進協議会（2/29） ●各種歯科健診結果の集計等 ●ライフステージごとのリーフレット更新（9種類） 	<ul style="list-style-type: none"> ●小児期むし歯のさらなる減少（幼〜小、4本以上むし歯がある子ども等） ●40〜60歳代の歯周病予防対策（リーフレット、啓発動画の活用等） ●フッ化物洗口（私立園、小中学校） ●成人歯科健診の受診率向上（妊婦歯科、歯周病検診、職域等） ●20〜30歳代の歯周病対策（健口アプリの普及、普及啓発等） ●口腔機能の向上（子ども〜高齢者） 	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン会議の増加 ●歯みがきの仕方 （なるべく口を閉じながら磨く、うがいは低い位置から静かに吐き出す等）
一般社団法人 鳥取県中部歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ●歯と口の健康週間事業 ●倉吉市委託事業 ●4町委託事業等 * 歯科医師会の会務は、歯科保健関連の取組と考えます 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍において、歯みがきに対するマイナスイメージがあり、集団での歯みがきが中断している所が現在も続いているのではと懸念しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの行事が中止となりました。
一般社団法人 鳥取県中部歯科衛生士会	<ul style="list-style-type: none"> ●むし歯及び歯周病予防啓発活動事業 4月 歯と口の健康週間、11月 いい歯の日、いい歯の口の健康づくり推進月間 ●フッ化物歯面塗布 6月 歯と口の健康週間フェア、10月 倉吉市民健康づくり ●歯周疾患検診促進パイロット事業（県事業協力） ●琴浦町事業所健康講座（町事業協力） ●母子保健事業（1,6歳児、3歳児歯科健診） 		<ul style="list-style-type: none"> ●ディスプレイカップ ●フロスなし ●砂時計なし
鳥取県 薬剤師会中部支部	<ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物洗口液指示書の対応（保育園、個人） ●歯科処方箋の応需 ●定期的な受診勧奨 		<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍での受診を控えた方がいる ●数年ぶりに歯科、という方も最近多い
倉吉市 公私立保育園長会	<ul style="list-style-type: none"> ●ブラッシング指導 <対象> 4歳児・5歳児 <内容> 染め出し剤を使用し、磨き残しがないかを個々にチェックする。 実際にブラッシング指導を実施。 (2歳児以上は給食後に歯みがきを実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔内が乾燥により細菌が増殖しないよう普段からうがい、水分補給等をこまめに行うよう指導し、感染症の防止とともに、口腔内の健康に対応していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歯科検診当日はコロナ感染等で欠席者が非常に多く、歯科への再受診をお願いしたが、何度声掛けをしても行かない家庭が多かった。 そのために正しい統計をだすことができなかった。
中部学校保健会 養護教諭部会(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ●2年生を対象に歯科衛生士さんによるブラッシング指導（染め出し） ●児童保健委員会による、むし歯マップ作戦 ●給食後の歯みがき ●歯科検診の結果、特にむし歯が多かった学年に対して、1時間の保健指導を実施 ●ほけんだよりや学校保健委員会だより等で各家庭へ啓発を行った。 ●全国歯みがき大会5年生実施 ●夏休み、冬休み生活カード ●保健委員会で歯の健康に関する標語の募集 ●朝の健康観察時の「朝はみがきをしたか」の項目を追加しチェックを行う ●1年生学活「六歳臼歯について」学習 	<ul style="list-style-type: none"> ●全校を対象にした歯科指導を実施し、磨き方や歯みがきの大切さを理解する機会を作る。 ●1〜3年生は給食後の歯みがき自体が初めての事。その点もふまえた児童生徒への保健指導。 ●保護者への啓発（たよりや学校保健委員会など様々な機会を通して） ●学校以外の関係機関からの情報提供や働きかけによる歯口の健康づくりの推進 ●給食後の歯磨きの習慣化 ●R6年4月から始まる医療費無償制度をしっかりと周知できれば、通院しやすくなり、治療率が上がる事、定期受診でむし歯予防ができることが期待される。 ●手洗い場（水道）の数が少なく場所も狭いため、歯磨きの時に密集してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度から給食後の歯磨きを再開したが、すぐに終わらせたり、歯磨きをしないなど、しない習慣の方が定着している。 ●コロナ禍においても、給食後の歯みがきを実施していたが、環境面で密を避けられない状況はあり、教員からの積極的な指導を控えるようになった。 ●コロナが5類になり、給食後の歯磨きを再開したが、当面は希望者のみで強制しないこととした。 ●以前は年2回検診していたが、コロナ以降は春だけになった。

団体	歯科保健関連の取組	今後必要と考える対策	新型コロナウイルス感染症により影響のあったことがあれば記載
<p>中部学校保健会 養護教諭部会(中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●養護教諭による歯科保健指導（集団・個別） 歯周病予防・給食後の歯みがき・治療状況・ブラッシング指導 ●歯科学校医さんによる歯科保健指導講演会 歯肉炎予防・ブラッシングの重要性等 ●歯科衛生士による個別歯科保健指導（定期健診後） ●生徒委員会による活動 ・給食後の歯みがきチェック・歯ブラシチェック・呼びかけ等 ・歯と口の健康情報の啓発活動 ・歯と口の健康習慣啓発標語の募集 ●治療勧告（検診後・3者懇談時） ●保健だよりや掲示物（保健室前等） う歯や歯周病予防・治療状況グラフ ●PTAとの連携（早期治療の依頼文書配布） 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校歯科医さんや歯科衛生士さんと連携した取り組み 講演会（歯肉炎予防教室など）、ブラッシング指導 ●生徒委員会主体の取り組み ●中学校区の小学校と中学校が連携した取り組み ●個別の歯科保健指導（特に未処置歯・処置歯の多い生徒を対象） ●給食後の歯みがきの推進（呼びかけ、保護者に実態を伝え協力を求める） ●う歯受診率UPの取り組み（各組織（PTA・生徒委員会等）で、年々治療率が低下している実態を健康課題として取り組む） ●手洗い場の環境整備（蛇口の数が少ない、場所が狭い等） 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍でも配慮しながらの給食後の歯みがきを継続してきたが、あまり推進することはできなかったため、給食後の歯みがきをする生徒の割合が低下している。 ●特に1年生は、小学校で給食後の歯みがきが中止や十分にできちないせいなのか、給食後の歯みがきの実施率が低く、歯みがきの習慣化も定着しにくい。治療勧告者も、2年3年よりも多いという実態が見られた。 ●コロナ前に実施していた歯周病予防教室を、現在は実施していない。
<p>倉吉市 小学校PTA連合会</p>			
<p>東伯郡 中学校PTA連合会</p>			
<p>鳥取県 重症心身障害児(者)を守る会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●団体としてはない ●各自が日々の口腔ケアに努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ●入院中、グループホーム生活の方、ショートステイ中などで歯科検診、往診（訪問診療）、歯科指導があれば助かるという要望がありました。 現状、希望はあっても可能なのか、地域の先生がされるのか、訪問診療の仕組みも分からない方がほとんどでした。 →広報をする（して欲しい） →地域で障がい児者が気持ちよく行ける歯科医院を紹介（して欲しい） →バリアフリーの設備が知りたい 段差、スロープ、治療する空間の状態等 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な歯科受診に行くことを控えた方が何人かありました。
<p>鳥取県 老人保健施設協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●当施設では、6年前より口から食べる栄養管理としてOMATチームを組み、他職種連携で入所時に口腔内・嚥下状態・姿勢・自助具等の評価と安全においしく口から食べていただくをスローガンに対応しております。 ●誤嚥性肺炎予防に努めております（月1回程度） ●今年度より口腔内検診を実施しております（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ●リハビリテーション・口腔・栄養の一体的取組の推進強化するために多職種連携が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染者の口腔ケアがいつもよりケアが出来なく、アイテムの工夫も行いました。
<p>全国健康保険協会 鳥取支部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●広報活動の実施 支部の広報誌「健康経営通信」に鳥取県等が実施する健康講座・教室のご案内のチラシを同封。チラシの中に「職域・地域における歯周疾患検診促進パイロット事業」「働く皆様のための健康講座（生活習慣病・受動喫煙・歯と口の健康）」を案内。問合せがあった場合、事業・講座の申し込み手順を案内（主催は各保健所） ●送付対象：健康づくり宣言事業所 2,338件 	<ul style="list-style-type: none"> ●加入者に対する歯科健診の実施 	<p>特になし</p>

(中部市町)令和5年度 歯と口腔の健康づくり関連事業に関する取組状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯科検診(1.6歳,3歳) ◆個別保健指導,フッ化物歯面塗布(1.6歳,3歳) ◆フッ化物歯面塗布(歯科医師会委託) ◆保育園集団歯科指導(20園22回) ◆フッ化物洗口(保育所) ◆フッ化物洗口保護者説明会(保育所) ◆フッ化物洗口実施状況調査 ◆乳幼児クラブでの歯科講話 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯科健診(1.6歳、3歳) ◆保健指導、フッ素塗布(6か月、1.6歳、3歳) ◆ミニ講話、ブラッシング指導(1歳) ◆保育所巡回指導(春、秋) ◆離乳食講習会(4回/年) ◆フッ化物洗口(保育所) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯科健診(1.6歳,2歳,2.6歳,3歳) ◆歯科相談(6か月,1歳,1.6歳,2歳,2.6歳,3歳) ◆フッ素塗布(半年ごと) ◆こども園歯科健診(1回/年) ◆こども園虫歯予防教室(各園2回/年) ◆フッ化物洗口(こども園) ◆離乳食講習会(10回/年) ◆両親学級での講座(1回/年) ◆1歳教室(4回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯科健診(1.6歳、3歳) ◆保健指導(6か月、1.6歳、2歳、2.6歳、3歳) ◆フッ素塗布 ◆園巡回指導(年2回7園) ◆離乳食講習会(6回/年) ◆フッ化物洗口(保育園・こども園) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯科健診(1.6才、2才、2.6才、3才) ◆歯科指導(6か月、1才、1.6才、2才、2.6才、3才) ◆フッ素塗布(1.6才、2才、2.6才、3才) ◆こども園フッ素塗布(春):(3.4.5才) ◆こども園歯みがき指導(冬):(6か所) ◆町内こども園フッ化物洗口 ◆離乳食講習会(年6回)
学齢期	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校歯科検診(各学校で異なる) ◆ブラッシング指導(各学校で異なる) ◆デンタルプロフェッショナル派遣事業(県事業)(関金小学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校歯科健診(小・中学校1回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校歯科検診(1回/各小中学校) ◆ブラッシング指導(歯科衛生士派遣1回程度(予定)) ◆フッ化物洗口(各小中学校) ◆保健だより等、歯と口の健康の啓発(各小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校歯科健診(小中学校1回/年) ◆ブラッシング指導(各学校で異なる) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校歯科健診 ◆フッ化物洗口(町内小学校2校)
成人期	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦歯科検診 ◆歯周疾患検診(40.50.60) ◆食生活改善推進委員養成講座にて歯科についての講話 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦歯科健診 ◆歯周疾患検診(20~60歳までの5歳刻み) ◆成人歯科健診(1.6歳保護者) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦歯科健診 ◆ふしめ歯科検診(20.25.30.35.40.45.50.55.60.65.70歳) ◆歯科相談(健康診査時に歯科衛生士が実施) ◆歯科衛生教育(歯科衛生士による講演会) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦・パートナー歯科健診 ◆歯周疾患検診(20.25.30.35.40.45.50.55) ◆2事業所で歯科に関する健康講座を実施 ◆琴浦町健康経営モデル事業を活用し事業所の従業員の歯科検診費用を助成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯周疾患検診(20.30.40.50.60.70歳) ◆歯科相談(セット健診時5回/年) ◆妊婦歯科健診
高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯周疾患検診(70) ◆介護予防事業 なごもう会(口腔がんについて、口腔機能向上の為の講話、体操) ◆希望地区にて介護予防教室にて講話と体操 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康相談で口腔機能の向上を目的とした体操等の実施 ◆後期高齢者歯科健康診査 	<ul style="list-style-type: none"> ◆後期高齢者健口機能向上支援モデル事業 ◆口腔体操、嚥下体操をサロンや各事業で紹介 ◆フレイル判定チェックリストを使用し、口腔機能低下で支援が必要と判断した方に、ミニディサービスで、口腔体操を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歯周疾患検診(60.65.70) ◆後期高齢者歯科健診(75歳以上) ◆健康教室で各種歯科検診の紹介、後期高齢者歯科検診についてはその場で申込みを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆後期高齢者歯科健診
推進体制普及啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ◆親子よい歯のコンクール受賞に合わせてホームページ掲載 ◆歯と口の健康週間、いい歯の日に併せて口の健康について市報掲載 ◆離乳食講習会や乳幼児健診で歯科リーフレット配布 ◆歯周疾患検診啓発のため市報掲載 ◆歯周疾患検診未受診者に勧奨ハガキ送付 ◆健康教育、オーラルフレイル予防の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町報で口腔衛生をテーマに掲載 ◆歯と口の健康週間にあわせてポスターを掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「歯と口の健康週間」に合わせて、フッ化物洗口、ふしめ歯科検診について町報に掲載 ◆鳥取県高齢者のよい歯のコンクールポスター掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ◆若い世代を対象に町公式LINE・インスタグラム・フェイスブックによる普及啓発、町報・HPによる周知(6月・11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆11月頃に歯周疾患検診対象者で未受診者に受診勧奨実施 ◆歯と口の健康週間にあわせて町報に歯科の記事を掲載、ポスター掲示 ◆5月健康づくり研修会にて仲歯科医師による歯科の講演を実施 ◆3月に町内歯科医師連絡会を開催予定
課題及び今後の目標	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆う蝕罹患率が高い保育園へのアプローチ ◆歯周疾患検診受診率の向上 ◆妊婦歯科検診のマニュアルがない ◆若年層(20・30代)への歯周疾患検診対象拡大(早期的な介入と対策) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦歯科健診、歯周疾患検診の受診率が低い。 →広報誌、SNS等での普及啓発を行い、若い世代を中心に口の健康について関心を高め、検診受診率の向上を目指す。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3歳児健診までにむし歯ができる児は減少傾向にあるが、毎年一定数いる。 ②生活習慣(食事・歯みがき・おやつ・ジュース等)が気になる家庭→改善しておらず、健診を重ねるごとにむし歯が増える子が数多い。 ③ふしめ歯科検診の受診率を上げる。 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①②乳幼児期からの健診、相談による歯科衛生教育の充実、保護者の意識向上を図り、むし歯罹患率を減少させる。 ③ふしめ歯科検診受診率の向上 →広報や集団健診、健康教室、講演会等で周知・受診勧奨。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆3~5歳児のう蝕罹患率が高い ◆今年度から妊婦歯科健診の対象をパートナーへ拡大し、妊娠前から保護者と乳幼児への予防歯科に対する認識を高めることを目指す。 ◆歯周疾患検診の受診率が低いことが課題:目標8.5% ◆若い世代や無関心層への啓発が課題 	<p>目標:お口の健康について関心を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦歯科健診受診率:50%目標 歯周疾患検診受診率:8.5%目標
コロナ後、変わったこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍では園での集団歯科指導の希望数が減っていたが、現在はコロナ前の状況に戻っている。染めだしを中止していたが再開。 ◆歯みがき、フッ化物洗口を中断していた園が再開。 ◆歯周疾患検診受診率も回復 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育園歯科指導がコロナ禍で講話のみとなっていたが、今年度(R5年度)から染め出しも再開となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆R4年度は、全てのこども園でフッ化物洗口、歯磨きを中断していた。 R5年5月から歯磨きを、6月からフッ化物洗口を順次再開 ◆R4年度フッ化物洗口実施時に、吐き出した液がはねないようにゆっくり吐き出すことを指導書に追記した。(R5も継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆密を避けるため、乳幼児健診を2段階受付とした。参加人数を把握するため離乳食講習会や2.6歳の歯みがき教室を申込制とした。申込制とした事業は参加人数は以前よりも減っている。 ◆歯周疾患検診に同封する歯周病に関するチラシからコロナ関係の部分を削除 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町内こども園、小学校のフッ化物洗口再開